西東恒太

この度、姉妹都市であるスイスを訪問する素晴らしい機会をいただきました。現地でのたくさんの感動や、温かい人々との交流は、私にとって一生の宝物になりました。体験したことを時系列順にご報告します。

旅の始まりに訪れたのは、ユングフラウヨッホ展望台です。最新の大型ロープウェイ「アイガーエクスプレス」に乗って、目の前に迫るアイガーの絶壁を間近に眺めながら進む時間はとても緊張感がありました。展望台から見渡す一面の氷河は、息をのむほどの美しさでした。大自然のスケールに圧倒された後、いよいよ期待を胸に、ホームステイ先と向かいました。

翌日からは、現地の生活を体験する時間が始まりました。ホストファミリーの子が通っている現地の中学校を見学させてもらい、日本との違いに驚きながらも楽しく交流しました。そこで富士河口湖町の紹介をする機会があり、地元の魅力を一生懸命伝えたところ、みんなが興味を持って聞いてくれたことが本当に嬉しかったです。

ホストファミリーの家に帰ってから日本から持ってきた家族の写真を見せると、ホストファミリーのみんながとても喜んでくれました。言葉が完璧に伝わらなくても、写真を通じてお互いのことを深く知ることができ、急に親しみやすさが増したように感じました。その後、一緒に買い物へ行ったときにも、「スイスのチョコならこれが一番おすすめだよ」と美味しい選び方を優しく教えてもらい、まるで本当の家族の一員になれたような温かい時間を過ごすことができました。

後半は、ツェルマットの魅力をじっくり味わいました。ゴルナーグラート展望台からの絶景を眺めながらのハイキングでは、澄んだ空気のなかで可愛い高山植物を見つけることができました。また、村の散策では伝統的なねずみ返しの小屋を間近で見学し、厳しい自然のなかで暮らすための昔の人の知恵に感心させられました。

最後の夜にはさよならパーティが開かれ、美味しいスイスのご飯をみんなで囲みながら、感謝の気持ちを伝え合いました。

お別れをした翌日は、旅の締めくくりとしてピラトゥス山を訪れ、スイスの山の美しさを最後まで胸に刻んで帰路につきました。

短い期間でしたが、言葉や文化の違いを超えて仲良くなれる素晴らしさを学びました。この貴重な経験を大切にしていきたいです。